

2022年度 条件反射制御法実地研修内容（プログラム）

	時間	実施内容
1日目	13:00 18:45 終了	オリエンテーション（病棟） 病棟案内、電子カルテ及び鍵の取扱 研修生提出の筆記テスト回答と解説（初級） 反応の変化の把握と報告、誤投薬防止の方策、宣言療法の説明 <u>疑似物質、パチンコ台、マネキン、商品箱、病棟内の見学</u> <u>計画（展開表）と指示、試験、設定、観察の見学（P2参照）</u> ※下線内容は2日目へ延期可
2日目	8:30 10:00 17:15 終了	病棟カンファレンス参加、反応変化の報告 指導下で指示、試験、観察の実施 研修生が職員を対象にして制御刺激、疑似、想像の設定の練習 尿検査の扱い、麻薬取締官との面接に関する説明 （宿題）研修生に対する筆記テスト実施（中級）
3日目	8:30 10:00 17:15 終了	病棟カンファレンス参加、反応変化の報告 外来診療での維持ステージにおける働きかけの見学 尿検査による第二信号系への対応方法見学と実施 指示、試験、設定、観察の実施
4日目	8:30 17:15 終了	病棟カンファレンス参加、反応変化の報告、筆記テストの提出 指示、試験、設定、観察の実施
5日目	8:30 10:30 15:00 終了	病棟カンファレンス参加、反応変化の報告 平井による実技テスト 指示、試験、設定、観察の実施 修了証書授与

※15:00 頃に休憩 15 分間

※当日の進行状況等で、プログラム内容が変更されることがございます。

プログラム補足

指示：看護師が患者に説明書を渡し、読解を指示し、テストの予告を行う。

1. 各治療作業（基礎知識の修得、制御刺激、疑似、想像、維持、描写文、屯用疑似物質）を実施するために必要な知識を記した資料を患者に渡す。
2. テストを予告する。

試験：看護師が患者に対してテスト、採点、指導、記録を行う。

1. 予告したテストを患者に対して行う。
2. 採点を行う。患者の目の前でを行う。下記3も同時に行う。
3. 誤りについて患者に質問し、正解を導き出すよう、指導する。
4. 電子カルテに点数を記録する。
5. 上記を、必要に応じて反復する。

観察：看護師が作業回数票、観察票、動作の確認を行う。

1. 毎日の担当看護師が作業回数票を確認し、記録する。
2. プライマリナースが制御刺激動作を再現させ、円滑かどうかをみる。
3. プライマリナースが観察票を確認する。必要に応じて、指導する。

設定：医師が各ステージの当初に作業の仕方を患者に指導する。

1. 患者に対して、各作業と記録法を反復して指導する。
2. 疑似、想像、描写文では反応（対促進刺激、対中断、対制御刺激）を把握する。
3. 看護師にステージの進行を告げ、観察を指示する。

注意

1. 反応の変化の把握
初日は指導担当看護師が同席で、研修生が観察票ファイルを用いて患者の反応の変化を把握し、研修生が指導担当看護師に報告する。
2. 指導担当看護師は朝の申し送りで、CRCTの各作業の設定の有無を医師に問い、研修の同席を打診する。
3. 指導担当看護師は習得項目表を見て、その日の予定を立てる。
4. 指示、試験、設定、観察、同伴疑似の各作業の初回は、指導担当看護師が行い、研修生は見学する。2回目から研修生が実施する。